



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1996・97年度国際ロータリー・テーマ

国際ロータリー会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ



1. 先達の歩みに敬意を払うことによって未来を築こう
2. 会員増強で未来を築こう
3. 職業奉仕の質を高めることによって未来を築こう
4. 次の世代を準備することによって未来を築こう
5. 平和な都市づくりに尽力し、未来を築こう
6. ロータリー財団を支援することによって未来を築こう

2000年6/12(木)

第460回 平成9年5月23日(金) 9:00-10:00

[本日のプログラム]

<ol style="list-style-type: none"> 1. 点 鐘 2. ロータリーソング 「奉仕の理想」 3. 食 事 4. 会 長 の 時 間 5. 幹 事 報 告 6. 各 委 員 会 報 告 7. ゲ ス ト 卓 話 8. 点 鐘 	<p>次 回 予 告</p> <p>* 5月30日(金) 次年度方針 会長エレクト 百万\$の食事</p> <p>* 6月6日(金) セレモニー 会員卓話 郡司武俊君</p>
---	---

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週金曜日(12:30~13:30)	会 長	伊東忠寛
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	徳丸彰一
事務局	宮崎郡佐土原町大字下田島20614- 佐土原町建築業協会内	幹 事	赤木達也
	☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170	会 計	宮原建樹
		会報委員長	垂水敏雄

第459回例会記録

1997. 5. 16

☆会長より 伊東忠寛君

1 会長の時間

(1) ビジター紹介

- あわじ緑RC 金崎 詳 継 君
- 宮崎北RC 長嶺 貴 臣 君

(2) 第2730地区・地区協議会の開催について

来る 5月18日(日)午前9時(受け付け開始)から「サンホテル」で開催されます。次年度に向けた重要な会議であり、登録者全員出席して勉強してください。

(3) 私ごとですが、料理に興味があり時々自分で手掛けていますので、NHKテレビの「今日の料理」を参考にして、ビデオに収録しているものもありますが、月刊誌「今日の料理」の購読もしています。

その5月号のなかで「暮らしの中の茶嘯」『旬の新茶』という面白い記事がありましたので紹介します。

毎年4月上旬になると、各地のお茶の産地から新茶のお便りが届きはじめます。「新茶のできはどうだろうか?」「この調子だと、遅霜さえなければ今年もよいお茶ができそうだ…」などと、期待を膨らませる情報がしきりと伝えられます。

ところで近年、プロの茶商も勤が狂うほど産地間の競争が激しくなると、デパートや茶店の店頭が「走り新茶」の売り出しで賑わうようになりました。しかし、新茶とは早ければ早いほどよいというものはありません。早いほど香りがよくなっておいしいお茶ができるというのであれば話は別です。が実際は、期待に反してそうではなく、名ばかりの新茶なのです。めずらしい走り新茶といわれるだけで、たいていは未成熟のおいしくない新茶が多いようです。

新鮮で芳しい新茶の香りを求めてお買いになるお客様の、[旬]を好む気持ちに便乗し、珍しい内に一刻も早く…という気持ちは分かります。でも、たとえ「珍しさがよいのだ」と、百歩譲るとしても、実際には高価でおいしくない走り新茶を売ることになり、お客様にとんだ迷惑をかけることになります。これでは来年の新茶から買ってもらえなくなるでしょう。新茶なるものがどんなものか…と、真面目に考えるお茶やさんの足まで引っ張ることにもなります。

こんな思いを巡らせると、ひとりお茶ばかりに限ったことではありません。ある一面で、「旬」である時季に魁て、走りものが覆いに開歩しているのがこのごろの食品界です。

そもそも「旬」は、四季の変化に応じて得ることのできる果物、きのこ、野菜、魚や鳥や山野の肉などの、自然が醸し出すいろいろな条件がお互いに交差しあって生まれるものです。いわば、自然に逆らうことなく、人の手にかからずに、自然の恵によっておいしさが与えられるタイミング、それが「旬」というものでしょう。

あるものは熟成し、あるものは脂がのり、あるものは香りや旨みがいっそう増すことで、人々の口にあったタイミング（言葉をかえれば食べごろ、飲みごろ…）になるのです。

近年は、人為的に食べものや飲みものの旬が無視され、年々早められ、やがて茄子やキュウリ・とまのように旬がなくなり、一年中収穫できるようになるでしょう。そして、人々はしだいに「本物の旬のもの」を知らなくなります。そのひとたちは、ある意味でたいへん不幸だとは思いますが、当のご本人はそうは思っていないで、それがしごく当たり前のことだと平気であるから困ったことです。

新茶の売り出しも、例外ではありません。

「旬の新茶」は、昔から立春から数えて88日目の5月初め、八十八夜のころといわれます。このころが、天（気候）・地（土壌）・人（技）の調和によって、本当に香りのよいおいしいお茶ができるのです。

旬のお茶こそ心身に豊かな潤いと健康保持に役立つことを忘れてはならないのです。

(NHK. 今日の料理) より

録担当者は、予備テープレコーダーを持参してくださいとのことです。

☆ 幹事報告

赤木達也君

1. 例会変更通知

*小林RC 5月14日12:30

海上自衛隊えびの送信所

*日向東RC 5月27日18:30

はまぐり荘

*日向中央RC 5月28日12:30

黒田の家臣

*宮崎西RC 5月23日18:00

ホテル浜荘

〃 5月30日12:30

ホテル・プラザ宮崎

2. 5月18日の地区協議会各部会の記

☆ 出席報告

委員長 山本民生君

会 員 数	29名
H C 出席者数	22名
欠 席 者 数	7名
出 席 率	75.9%
メークアップ者数	3名
修 正 出 席 率	86.2%
欠 席 者 名	中武・黒田・神宮寺・福田

☆青少年奉仕委員会より

委員長 徳丸彰一君

5月10日に開催されました『新世代会議』には、当クラブからも多数ご出席くださりまして、誠に有り難うございました。次代を担う若人たちに自由に討論をしてもらい、ロータリアンはそれに対して助言をするという形式の会議でしたが、すばらしい20代の青年と話し合うことができ、感銘させられました。

「今頃の若い者は……」という発言は、今後は慎まなければいけないと反省させられた次第です。

私はA分科会（テーマ：宮崎にないもの）に出席しましたが、「メディアの不足、自然を生かした施設、身障者に対する思いやり」があげられました。

会議の詳細は、後日報告書が送付されます。

☆会員卓話

吉田康一郎君

今回は、私ども日の浅い会員が、創立10周年記念大会についてどう行動し、どう理解していけば大会は成功するのかについて、私の意見を述べてみたいと思います。会場の設定、配置、位置づけ、人員の確保、接待の仕方など、私には初めての経験であり、ロータリーに入会後最大のイベントであると言ってもよいと思います。それで、大会までの残り4か月少々期間に何回となく実際にデモンストレーションを行い、失敗を少しでも少なくするように留意することが大事ではないかと私は考えます。具体的には、

1. 受付担当の方、奥様たちの練習を月

- 1回（夜間例会日）行う。
2. 会場ホテルの旭の間における接待及び招待者・一般会員の誘導方法の練習
3. 司会・進行担当者の声を出しての実際の練習
4. 祝宴の料理サービス予行に関しては、予算的にも無理なので割愛する。
5. 9月末までにすべてにOKが出れば、10周年記念大会の準備に余裕ができると思われる。

それと、私自身も一人で今のところ仕事をしているものですから、なかなか例会出席も思うようにいかないのですが、できる限り出席して、佐土原RCの楽しい例会づくりに尽力していくつもりです。

近頃、退会される方が多いのに少しがっかりしていますが、残っているメンバーで、これ以上辞める方ないようにして行きたいものです。

私がどうして佐土原RC創立10周年大会について話すことになったかと言いますと、高鍋RC創立10周年記念事業及び串間RCがホスト・クラブをされた第2730地区IMでの設営と段取りが実にすばらしいと感じたものですから、佐土原RCも30名のメンバーで頑張らないといけないと思ったからです。

メインの祝宴は、藤堂部長と協力して、いきなりフォークソングでうっとりさせ、またびっくりさせて、酒が入り一段落したところで日向太鼓とどろき会をドーンと入れます。これでお客様は、うーん、佐土原RCもなかなかやるなあと感じられるわけです。創立10周年を自分のものと考えて、みんなで頑張らしましょう。